令和２年７月７日

組合員　各位

日本舞台音響事業協同組合
代表理事　西澤　勝之

フリーランスの技術者等への支援のご案内

謹啓　盛夏の候、皆様におかれましては未だ先行きが見えないコロナ禍への対応、対策に激務の日々を送られていることとお察し申し上げます。また、平素は組合活動への格別のご支援にあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、昨日、文化庁より、別紙資料の通り令和２年度「文化芸術活動の継続支援事業」の募集案内が発表されました。この中には、フリーランスの技術者等への支援策が含まれております。

コロナ問題発生以前は、働き方改革施行に伴い、フリーランスの技術スタッフの皆様方と共に事業活動に邁進してまいりましたが、現下苦境に立ちますフリーランスの皆様方に少しでもお役に立てれば幸いに存じます。

ただし、給付金の支給ではなく、領収書が必要な助成金による支援で、経費の三分の二が支給されるもので、上限20万円、上限150万円の２種類となっております。

この請求手続きに当たっては、当組合が、統括団体として、組合員の皆様からの推薦があるフリーランスの方々について確認番号を発行し、本人が日本芸術文化振興会のHP の申請書に番号を記載することで登録されるシステムの取次団体に加わりました。

フリーランスの確認資格は、３年程度のキャリア、今現在現役、２月下旬から申請月まで会社に勤めていない、組合員からの推薦者、等々です。

支援金は、２月下旬から10月までの、活動継続、技能向上のための費用、具体的には、セミナー参加費、資格取得費、PC 消耗品やネット環境整備費、研修用の CD、DVD 等のライブラリー購入費等で、自宅稽古場費用や協会費などは認められません。ただし、税込み10万円以下の PC 等の購入経費は消耗品として認められます。

組合員の皆様より推薦いただくフリーランスの職種は、音響技術者だけではなく、照明、舞台、舞台監督、映像、ホール管理、衣装、通訳等文化芸術活動に関わるあらゆる職種となります。

また、７月10日には応募が開始されますが、添付ファイルの「事前確認依頼書」にフリーランスの方の情報、推薦者である組合員社名、代表者名、フリーランスの方のチェックを書き込んでメールもしくはファクシミリで組合宛てにお送りください。

組合において確認が出来ましたら、フリーランスの方に確認番号をご連絡いたします。日本芸術文化振興会の HP の申請書に番号を登録いただければ終了となります。

まずは、関係するフリーランスの皆様方に、この件につきましてのご案内をいただきますようお願い申し上げます。

謹白

事前確認依頼書

A　事前確認団体名	日本舞台音響事業協同組合

以下の個人情報は日本芸術文化振興会への申請情報と同一のものとしてください。

氏名（本名）	ふりがな		
	姓	名	
芸名	ふりがな		
生年月日	西暦		
連絡先　　現住所	〒		
電話番号		職種	
Eメールアドレス			

推薦組合員社名	
代表者名	

下記に当てはまる場合は、□にチェックを入れてください

□ 直近の過去３年間において、複数回、不特定多数が集まる公演、映画事業に携わったことがあります。

□ 現在、当該分野で業務能力があり、今後も継続して舞台、映画活動に携わる意志があります。

□ 舞台、映画活動による収入があります。（常時雇用による収入を除く）

□ 私は、ほかの団体に確認番号の発行を依頼していません。

注：常時雇用とは、雇用保険の対象になっていることです。原則として、一か所の事業者（個人事業主も含む）で、週の労働時間がおよそ 20 時間未満の場合は対象になりませんが、それ以上労働している場合でも、雇用期間が 31 日以内など、雇用保険の対象にならない場合があります。なお、雇用保険の対象となる場合、雇用保険被保険者証が発行されます。

業務委託として仕事をしている場合は常時雇用にはあたりません。

私は、ここに記載したことに相違ないことを証し、フリーランスの芸術家等に該当することを認める確認番号の発行を依頼します。　　チェック欄 □

事務処理欄　受付日	確認番号：

日本舞台音響事業協同組合　FAX 03-5461-4691　mail butaionkyo@jassc.com